

令和4年5月25日

令和4年度学校関係者評価報告書

静岡県美容専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人静岡県美容学園静岡県美容専門学校学校関係者評価委員会は、令和3年度自己評価報告書に基づいて学校関係者による提言書の提出を受けましたので、以下のとおり報告します。

1 実施日

令和4年5月25日（水）午前10時～午前11時30分

2 実施内容

授業参観、学校報告会及び学校関係者評価委員会

3 学校関係者（評価者）

花崎 雅世氏（静岡県立静岡商業高等学校教諭）

橋本 龍二氏（静岡県立静岡西高等学校教諭）

青木 達之氏（静岡県立駿河総合高等学校教諭）

杉山まり子氏（昼間課程2年生保護者）

4 報告者（補足資料作成者）

校長 望月ひとみ

教務課長 蒔田 英司

総務担当 園田 環

事務局長 提坂 直

5 評価会議の概要

<はじめに>

本校は、学校の質保証と向上を目指して「学校自己評価」を行っている。具体的には、教職員による「自己評価」と、「学生の学校満足度調査」・「学生の授業アンケート調査」を行い、学校が抱える課題の明確化と改善を図ってきた。

本校では、この「自己評価」に加えて、組織的で継続的な教育活動の改善とキャリア教育の充実を一層図るため、外部の有識者による「学校関係者による評価会議」を開催して、指導・助言や提言を頂いている。

当日は、初めに授業参観で学生の取組状況を見ていただいたのち、学校からの報告、評価会議の順に進めた。会議では、学校の特徴的な取組などを各担当から説明した後、評価者から意見、改善すべき点、提言等を伺った。

<授業参観の感想>

- ・挨拶ができていることに驚いた。来客者に対して徹底して指導され、生徒が挨拶をしていた。
- ・実技課目に対して積極的な授業態度であり、生徒が学ぼうという姿勢が見受けられた。なおかつ、授業を担当する教員が2人以上いたことは、丁寧な授業を行っていると感じた。授業に遅れがちな生徒に対しても補助できる体制ができていた。  
生徒が生き生きしていた。
- ・1年生は、まだ高校生活の延長に在るような感じであったので心配な面もあったが、2年生では授業に対する姿勢にも変化が見受けられ、真剣に授業を受けているということが感じとれた。
- ・すれ違う生徒が気持ちよく挨拶をしてくれて、生徒指導が行き届いていると感じられた。コース選択の内容が多く、様々な授業を受けることができ、そのなかで生徒自身が学んでいけるという魅力的な授業を行っている、教育の内容であると思う。  
生徒たちも生き生きと前向きに授業に取り組んでいて、美容の仕事をしているかのような印象を受けるような取り組みであった。  
このような貴重な機会を持ってよかった。
- ・一般的な学校で受ける授業のイメージと異なり、明るい雰囲気で一息懸命、実技課目の授業に取り組む姿勢が見えた。

<学校関係者による意見、提言等>

1 教育理念・教育目標

(学校関係者の評価・提言)

- ・特になし

2 教育活動

(学校関係者の評価・提言)

- ・来校者に対しての挨拶が積極的にできていて、印象が良かった。
- ・国家試験の合格率も過去の数値と比較して現在では上がってきているため、授業が充実してきていることが見受けられ安心できる。
- ・国家試験不合格者へのフォローを学校が積極的に取り組んでいることは評価できる。
- ・国家試験が全員合格を目指してほしい。

3 学生受け入れ

(学校関係者の評価・提言)

- ・特になし

4 教職員組織

(学校関係者の評価・提言)

- ・教員数が十分におり、丁寧な授業ができていると見受けられた。

## 5 施設・設備等

(学校関係者の評価・提言)

- ・特になし

## 6 学生生活支援

(学校関係者の評価・提言)

- ・高校でも高校生活の悩みに対して学生相談やカウンセリングを積極的に行うことを進めているので、専門学校においても取り組みを進めていただきたい。
- ・クラス担任がカウンセリング等を行っていることに加えて、学校として学生相談やカウンセリングに積極的な取り組みが伺えた。
- ・卒業後に就職先を離職した生徒に対して、相談を受けた専門学校が積極的なフォローをしている姿勢が感じられた。

## 7 管理運営

(学校関係者の評価・提言)

- ・特になし

## 8 自由意見

- ・高校からの入学者の受け入れを進め、生活指導も含めて指導を継続して欲しい。
- ・美容業界は新型コロナウイルスの影響により、売り上げや来店者数が著しく減少しブライダル関係は特に落ち込みが大きかったが、令和4年現在では影響は非常に小さくなっていることが専門学校側からの説明で理解できた。
- ・高校の指導では、挨拶とマスクをしての会話するときの感情表現の必要なことを感じとることができた。
- ・離職する生徒の傾向というものではなく、離職に特別な理由がなく、就職先での人間関係や営業形態が離職者と合わないということが多く理由であることが理解できた。